

ゴムからのアウトガス分析事例

材料の選定に腐食ガスセンサを活用

<評価方法>



容器に腐食センサと材料を入れて密閉

容器を環境試験器に入れて50℃で保持

一定時間経過後に取出し腐食長さを測定

評価対象の材料

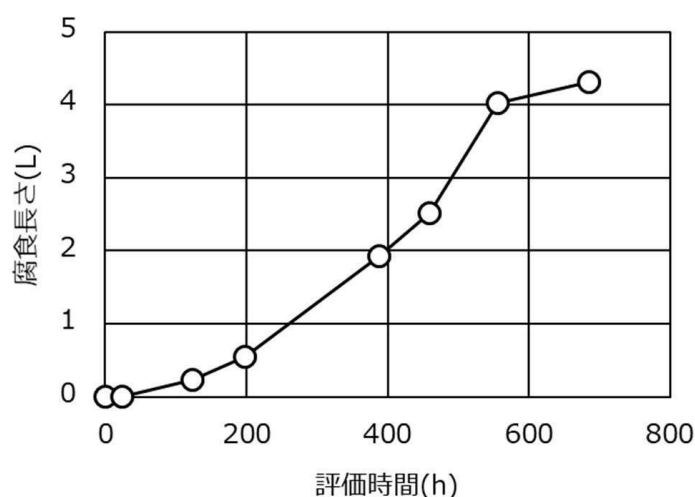
<評価結果>

評価条件:50℃×700h

材料	blank	EPDM	フッ素ゴム	ブチルゴム	シリコーン ゴム
外観					
腐食	なし	なし	なし	あり	なし

※EPDM:エチレンプロピレンジエンゴム

ブチルゴム



- ・硫黄を含む材料は腐食長さが時間経過と共に大きくなる
- ・分析装置を使用せず、硫黄の混入を把握できる
- ・温度条件や時間は任意に設定可能

<アプリケーション例>

自動車、電子機器、通信機器